

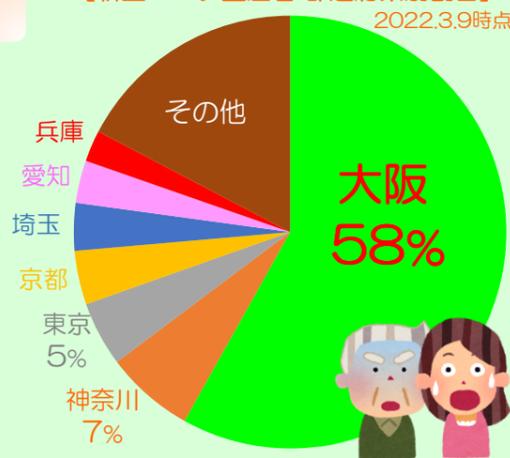
大阪府の失政に堺市はどうあるべきか

全国のコロナ重症者の過半数が大阪府民

「大阪府のコロナ対策はうまく行っている」と思っている方は少なくないようですが、数字はウソをつきません。全国の新型コロナ重症者のうち、なんと半分以上が大阪府民。東京の10倍以上です。死亡者数も全国ワースト1。原因はいくつもあるでしょうが、大阪府の政治に原因がないはずがありません。橋下徹さんも、知事時代の改革(という名の削減)によって「現場を疲弊させた」と認めています。コロナ禍から2年。堺市も、府の失政を検証し、今後を活かしていくべきです。

【新型コロナ重症者 都道府県別割合】

2022.3.9時点



万博・カジノの会場となる夢洲



カジノを含む統合型リゾート(IR)のイメージ図

増えつづけるカジノへの公費負担

「カジノに税金は使わない」と松井大阪市長(前・大阪府知事)は言っていたのに、あれよあれよと税負担は増え、現時点で1700億円以上に。他、当初と計画がずいぶん変わっていますが…

税金は使わない ⇒ 夢洲整備に**1700億円以上の負担増!**
 毎年の経費に**55億円**の負担!

外国人中心の収益想定 ⇒ 日本人中心の収益想定

万博に合わせ開業 ⇒ 4年遅れで開業(この間、地下鉄は大赤字?)

コロナ禍を経て収益想定がUP? 3800億円 ⇒ 4900億円

コロナ前のUSJ(約1500万人)より多い集客想定(約2000万人)

コロナが終息しなければ**事業者は撤退可能**(整備費用がムダに?)

永藤市長もカジノに期待し、堺市のベイエリア開発を進めています。ずさんな計画に堺市は乗るべきなのでしょうか?



こんな計画で本当にうまくいくの??

ご意見をお寄せください!

FAX: 072-320-0103

Mail: takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

お名前: TEL:

住所:

※匿名でも結構ですが、ご連絡先を頂けましたら、必ずお返事します。

フッチーのつづやき (編集後記)

末っ子が卒園しました。つまり、私も卒園! 3人の子の朝夕の送迎で、通算4000回くらいは行き来した保育園…。長い間、よく頑張った! 自分で自分を褒めたい! 同じく卒園するパパ、ママ、お疲れ様でした! この経験は、いい意味で議会活動にも繋がりました。今後も子育て世代の当事者として、子育て支援の充実に取り組みます。このイラストとも、これでお別れ…かな?



堺市議会議員 (堺区選出・無所属)

2022春号

ふちがみ猛志 議会活動報告 Vol.28



【ふちがみ猛志市政相談所】

堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
 TEL/FAX: 072-320-0103
 Mail: takeshi@fuchigami.info
 HP: www.fuchigami.info

- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻、娘12才、息子10才、6才
- 堺市立錦小学校 卒
- 堺市立殿馬場中学校 卒
- 大阪府立三国丘高校 卒
- 神戸大学法学部 卒
- 2015年~堺市議会議員(2期目)
- 保護司



ふちがみ猛志 検索

目玉政策に乏しい令和4年度予算

令和4年度予算が成立しました。一般会計で昨年度比+0.7%、ほぼ同額です。永藤市長は重点政策の1つ目に「子どもの貧困の連鎖の解消」、2つ目に「健康長寿」を掲げました。これは素晴らしいことですが、その中身は、前者の新規事業が2700万円、後者は740万円のみ。4000億円超の予算の堺市の重点施策の1・2番としては、あまりに小粒です。例えば、第3子0~2才の保育料無償化は3億円、おでかけ応援バスは5億円。金額がすべてではありませんが、これまで堺市が積み上げてきた独自施策に比べるとずいぶん見劣りし、市長の強い意思はあまり感じられません。

【令和4年度予算の全体規模】

一般会計 4,267億円

福祉や教育、道路整備等、基本的な会計

特別会計 2,540億円

国民健康保険や介護保険など固定事業の会計

企業会計 890億円

水道事業など公営企業の会計



総額 7,697億円!!
 市民1人あたり約94万円

財政危機宣言はから騒ぎ?

施策の打ち出しが弱いのは、市長の財政危機宣言のためです。昨年2月の宣言時点では「8年後に基金(貯金)が底をつく」とされました(青グラフ)。コロナ禍による税収減を大きく見積もり、しかもその減収がずっと

続く(回復しない)と想定していたことが主な要因です。ところがフタを開ければコロナ禍初年度でも税収減はなく、新たな見通しでは大幅改善となりました(オレンジ)。私はこの1年、「危機というレベルではない」と言い続けてきましたが、やはりその通りだったようです。



大混乱だった予算議会

一方、理解に苦しむ予算もありました。健康増進アプリ「アスマイル」がその1つです。すでに大阪府が運用し、我々も府民として利用可能なのに、堺市がそれに追加費用を出すそうです(アスマイル自体ではなく、追加負担が疑問)。当局は追加負担のメリットをまともに説明できず、自民・公明・堺創志会が削減案を提案。最後は市長と維新が数の力で押し切り、この予算を通しましたが、大混乱の予算議会を象徴するようでした。(アスマイルの画面⇒)



永藤市長の公約破り! 再び出された! おでかけ応援バス削減案に **NO!** 議会が



次ページへ

市長の公約破り **おでかけ応援バス削減案 再び否決!**

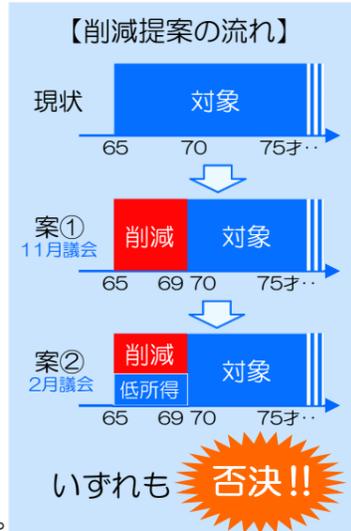
おでかけ応援バスの波及効果

65才以上の高齢者が100円でバスやちんちん電車に乗れる、おでかけ応援バス。高齢者の外出を促進し、**高齢者の健康増進、社会参画、地域経済の活性化、公共交通の維持などの波及効果**が確認され、市民に長く愛されてきた、堺市独自の取り組みです。



しつこく削減を狙う市長

永藤市長は、昨年11月議会で「65~69才」をこの制度の対象外とする削減案を提出(案①)するも、議会の理解を得られず、賛成少数(反対多数)で否決。私もこれには反対でした(理由は後述)。ですがこの議会の判断(=民意)に背くかのように、市長は年明けの2月議会で、微修正した削減案を再提出。低所得者を対象に残すという配慮をしましたが(案②)、**そもそもおでかけ応援バスは貧困対策ではありません**。制度の主旨を理解しない修正案が、議会で認められるはずありませんでした。



むしろ中長期的にマイナス

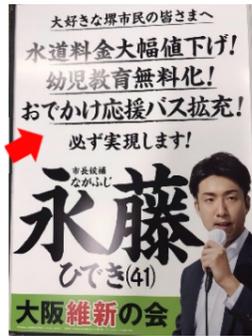
市長は「財政危機だから削減」と主張します。しかし前述したように、おでかけ応援バスは非常に波及効果の大きい施策です。高齢者のおでかけが促進され、街でお買い物や食事をする。その**経済効果は、**

予算額の9倍近い50億円以上になるとされています。また、**高齢者の健康増進は、医療費や介護費の抑制にも繋がります**(現役世代の負担軽減)。目先の予算削減に目を奪われて対象を絞り、これらの効果が減じると、**中長期的にはむしろ財政に悪影響**を及ぼしかねません。



削減は公約破り!

永藤市長は「おでかけ応援バス拡充」を掲げて、**当選**しました。それを「やらない」どころか、真逆の「削減をする」と言うのですから、**公約破りの批判を受けるのは当然**です。これに対し、多くの市民が怒り、のべ約2万筆の反対署名が集まったそうです。ちなみに当時の選挙ポスター(右)にある「水道料金大幅値下げ」「幼児教育無料化」「おでかけ応援バス拡充!」も手つかずのままです。



無謀な再提案で職員は忙殺

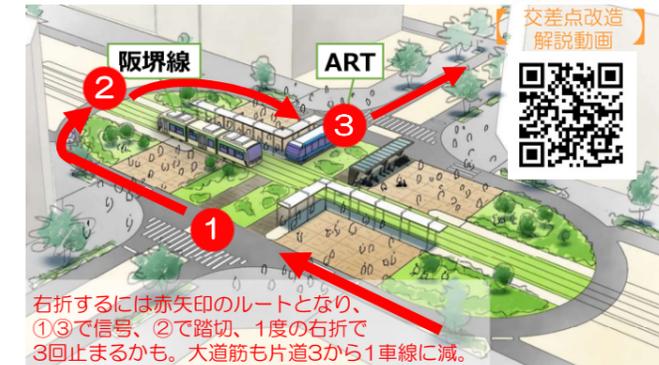
そもそも2度目の提案は、**議会への事前の説明もなく、可決されるはずもないもの**でした。無謀な再提案のために、職員は無理筋な根拠データを集め、資料を作成し、苦しい議会質疑にさらされ、忙殺されることとなりました。なぜこのような判断をしたのか不思議でなりません。職員があまりに気の毒で、実に罪深い再提案でした。



押し切られた自動運転バスと大小路交差点の改造

永藤市長が進める、20億円以上の公費を投じての堺東・堺駅間への自動運転バス導入、大小路交差点の改造計画について、問題点を議会で度々指摘し、この議会活動報告の前号、前々号(※1)で解説しました。大小路交差点を環状交差点に変える改造は、大渋滞を引き起こす心配がありますし、自動運転バスも利便性の向上につながりません。**むしろ堺市全体にはマイナス**になるでしょう(※2)。このため、これらを前提とした、来年度の1200万円の社会実験予算については、その**削減を提案**しました。しかし残念ながら、議会では数の力で

押し切られてしまいました。引き続きこの計画の問題点を指摘しながら、修正を求めて参ります。



右折するには赤矢印のルートとなり、①③で信号、②で踏切、1度の右折で3回止まるかも。大道筋も片道3から1車線に減。
 (※1)ご希望の方にはお届けしますので、ご連絡ください。
 (※2)2021.9.10付ブログでも解説。右上QRコードから入れます。

18才で自立を迫られる児童養護施設退所者

経済的支援、相談相手もなく、18才で自立しなければならない…。それが、親なき子、あるいは実の親に育ててもらえない子の多くが置かれた環境です。現行法では、児童養護施設、里親家庭への措置は原則18才まで。永藤市長は、貧困の連鎖の解消のためにひとり親家庭支援の拡充を目指すも(それ自体はいいこと)、**「一人の親すらもいない子」向けの支援はありません**でした。そこで「ひとり親家庭以上に**貧困の連鎖、課題の連鎖のリスクが大きい!**」と、私は長らく支援を求めてきま

した。堺市が令和3年から始めたフードパントリー事業。賞味期限間近の食料品を、スーパー等から寄付してもらい、ひとり親家庭に配るものです。私はこの事業の対象に、「児童養護施設退所者も加えてほしい!」と強く訴え、このほど加える方向で「検討する」との答弁を得ました。**これまでの「支援ナシ」から、小さいながらも一歩を踏み出せました**。引き続き支援の拡充を求めていきます!



堺消防署跡地活用へ一歩前進

堺区のだ真ん中、大小路交差点近くの堺消防署がR6年度に移転。跡地をどうするか、まだ決まっていません。「活用すべき一等地」だと、活用方法も含め、これまで議会で提案してきましたが、ようやく当局は「**まちづくりに重要な場所**」と答弁。跡地活用に向けて一歩前進です!私は堺区図書館はどうかと思っていますがどうでしょうか?今後も皆様の声を聞きながら議論していきます。**お聞かせください!**



不登校の子の居場所が増えた!

不登校児童・生徒の学びの場、居場所となる適応指導教室。堺区と美原区の2か所と、南区に出張教室が1カ所あるだけで、利用したくても利用できない子がいました。「各区にバランスよい配置を!」と求め続け、このほど**中区に2か所目の出張教室が設置されること**に!今後も、あらゆる子どもの居場所づくりに取り組み続けます。



平和のために、小さくともできることを

ロシアによるウクライナ侵攻という暴挙を受け、堺市議会では「武力侵攻を非難する決議」を全会一致で可決しました。私は中間の議員と、ウクライナ難民の受け入れの市営住宅確保を要望し、6戸確保されました。ウクライナ支援の募金箱も区役所に設置されています。1つひとつは小さなことですが、平和のために堺市なりにできること、私なりにできることを積み上げていきたいと思ひます。



「せっかくの募金箱なのに気付かない!」と指摘。改善してもらいました。

